

# 洪水【前線/台風、ゲリラ豪雨に注意しよう！】

## 洪水が起こる原因は？

前線の停滞や台風の襲来によって数時間にわたり大量の雨が降る集中豪雨、一時的に激しい雨が降るゲリラ豪雨に注意が必要です。

### 1. 前線の停滞

日本付近では、6月頃に梅雨前線、9月頃に秋雨前線が停滞して、雨が降り続きます。



### 2. 台風の接近

台風は暴風と大雨に注意が必要です。台風の規模によっては、広範囲にわたって甚大な被害をもたらします。



### 3. ゲリラ豪雨

大気の状態が不安定なとき、積乱雲が発達し、局地的に強い雨が降ります。

場合によっては線状降水帯の発生により長期化し、甚大な被害をもたらします。



- 真っ黒い雲が近づいてくる。
- 急に冷たい風が吹いてくる。
- 雷の音が聞こえてくる。

## 水害のしくみ

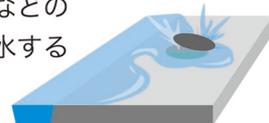
### 1. 堤防の決壊で起こる「洪水(外水氾濫)」

河川の流れを抑制している堤防が増水により越水、または侵食・洗堀・亀裂等により決壊し、市街地に水が流れ込むことをいいます。



### 2. 排水機能が追いつかず起こる「内水氾濫」

集中豪雨等により側溝や用水路などの排水機能が雨水に耐え切れず浸水することをいいます。



### 近年の災害事例「平成29年台風18号」

平成29年9月17日に台風18号が松前町へ最接近し、住家の浸水被害や道路冠水等が多数発生しました。重信川が戦後最高水位を記録するとともに、長尾谷川も水位が上昇し、多くの方が避難しました。



長尾谷川(松前中学校から上流へ約100m付近)

## 洪水の特性 避難時の正しい安全確保について知っておこう！

**川に近づかない**  
増水した川は大変危険です。河川のライブカメラを国や県のホームページから確認できます。  
国土交通省川の防災情報

**適切な避難方法を**  
① 浸水しない地域の親戚・知人宅へ避難  
② 近くの避難所へ避難  
③ 垂直避難（高いところへの避難）

**避難の時は足元注意！**  
浸水している場所を歩くときには、棒などでマンホールや用水路、側溝の位置を確認しましょう。水の深さが膝を超えると歩くことが難しくなります。

**立退き避難が基本**  
指定緊急避難場所、または近くの高い建物に早めに避難。

**垂直避難**  
浸水が始まり、外がすでに危険な場合は、2階以上など屋内のより高い所へ避難。

**指定緊急避難場所**